



**あんとん** HIROSHIMA

**Vol.43**

アドレス <http://www.h-yeg.jp/>  
E-mail [yeg@hiroshimacci.or.jp](mailto:yeg@hiroshimacci.or.jp)  
発行人 高田 秀穂  
編集 青年部広報委員会

広島商工会議所青年部会報  
2006.3

## CONTENTS

新年互礼会.....	2
2月例会.....	2
平成17年度役員より.....	3
卒業生の皆さんより.....	5
卒業式・卒業パーティー.....	6

# 新年互礼会

日時：平成18年1月27日  
場所：広島全日空ホテル

広島商工会議所青年部の平成18年新年互礼会が、1月27日（金）に広島全日空ホテルで開催されました。

新しい年を迎えての最初の会ということもあり、多数の会員が出席しました。

また熊本裕子会長予定者をはじめとする各役員予定者からの挨拶や新体制への抱負が語られるなど10年目という節目を迎える青年部の新たな年のスタートを切るのにふさわしい会になったことと思います。



# 2月例会

日時：平成18年2月24日  
場所：広島商工会議所ビル 101会議室

## 【第1部】講演会

テーマ：『地球温暖化の現状と将来の展望』  
講師：広島市地球温暖化対策地域協議会

会長 森嶋 彰 氏  
(広島修道大学人間環境学部 教授)

## 【第2部】事例紹介

2月24日、2月例会が開催されました。第一部の講演会では、広島市地球温暖化

対策地域協議会会長の森嶋彰氏（広島修道大学人間環境学部 教授）をお招きして、『地球温暖化の現状と将来の展望』というテーマでご講演いただきました。

第二部では、まちづくりを考える委員会の委員の皆さんがモデルとなり、ウォームビズ等の事例紹介をしました。

## 〈講演会〉



20世紀を振り返ると、それまで16億人の世界人口が4倍の60億人に急増した異常な世紀であり、発展途上国の人口はなお急増し続けており、2050年には中国とインドの2カ

国で人口の半分を占めると思われる。1970年代に地球の資源及び環境問題がクローズアップされてきた。また資源分配の不公平が進み、20%の人々が83%の資源とエネルギーを消費してきた。

日本においても60年代から70年代、約10%の経済成長を続けたが、反面、水俣病な

どの様々な公害問題が発生した。こうした状況の中で日本は、環境への対策を講じながらも成長を続けた。硫酸酸化物の排出量をゼロに近づけ、GNPを伸ばしながらも省エネにも取り組みエネルギー消費量を抑えた。また日本車の販売が今日好調なのは70年代からの環境・省エネ対策の積み重ねの成果であり、それを怠ってきたピックスリーは苦境に立たされている。企業を取り巻く環境は変化しており、70年代は出資者・従業員に配慮して利益を追い求めていたが、80年代になると企業市民として地域社会・地域行政との良好な関係作りを努め、90年代は消費者・NGO・オンブズマン・環境に配慮しなければならぬようになってきた。

20世紀は資源を使い続けた世紀であり、環境破壊の世紀であった。そのため全ての資源の枯渇の恐れがあり、今世紀は資源分配が紛争の源になるものと思われる。20世紀型の経済発展モデルを21世紀にまで持ち込むと、人類の生存条件が奪われかねない深刻な局面が発生する可能性が極めて大きい。ゆえに資源とエネルギーを持続して確保し続けられるかどうか、企業自身が環境・資源の事を考えなければならぬようになった。環境に対して取り組む企業は社会に好印象を与え、効率化・体質改善が進んでおり勝ち組企業といえる。

17世紀後半より石油を使い始め、その使用量は増加の一途を辿っており全エネルギーのうち化石燃料の占める割合は80%以上。温暖化問題は化石燃料の問題であり代替エネルギーを何に求めるのか緊急の課題である。京都議定書の達成期限が近づいているが、日本は目標達成が厳しい状況にある。なぜなら日本は以前より省エネ・環境対策に取り組んでいるため削減の余地が少



なく有効な手立てがない。一人当たりのCO<sub>2</sub>の排出量が増加傾向にあり、特に家庭からの排出量が増加している。環境税といった環境と経済を結びつけた政策を行いたいのが国民・産業界の抵抗が強く形にできない以上、CO<sub>2</sub>の排出権取引・協同実施・クリーン開発メカニズム・原子力等を用いるしかない。ただ2008年には日本でサミットが開かれるので何らかの成果が無いと日本の信用が問われかねない。

これからの企業経営ではCSR（企業の社会的責任）がポイントで特に経営・社会・環境の3点が重要である。またSRI（社会的責任投資）による銀行の融資の差別化が始まっている。

## 「平成17年度を振り返って」

●会長



高田 秀穂

昨年度の「原点回帰」に引き続いて、本年度は「このようにありたい」という理想(夢)を追いかけて活動していきましようと思し上げ、様々な活動を展開してまいりました。

なるべく委員会の希望を尊重したつもりですが、中にはかなり活動内容の変更を余儀なくされた委員会もあり 委員会とのコミュニケーションの不足を反省しております。しかし、ビジネスフエスティバル、国内研修旅行(仙台YEGとの交歓会)、中国留学生との交歓事業など対外的な事業も例年よりも多く企画運営され、そういった意味では団体として成長した1年であったかとも思います。

勿論対内的な事業も盛り沢山であり、各研修事業の他に、家族会やOB親睦ゴルフなどの親睦事業も行いました。さらに、毎例会後の交歓会、県内他単会との親睦ソフトボール大会などを開催し、会員相互のネットワークを深める機会も多く提供できたと思っております。特に本年度設置した新入会員研修特別委員会の新入会員交流事業はこれまで手薄だった新入会員のフォローといった面で大きな一歩でした。

こうして1年を振り返りますと思いのほか沢山の事業を運営したことにはまさるなから驚きます。YEGは座して待つということも何も得るものではありません。積極的にこういった事業に参加して、会員各々が良いネットワークを構築していただきたいと思えます。

末筆になりましたが、息切れしそうな私を1年間支えてくださった役員の方々と会員の皆さんに厚くお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

## 平成17年度役員より

### ●会務グループ 担当副会長

三好 和夫

平成17年度は会務担当副会長として貴重な経験をさせていただきました。アツと言った1年は、不慣れなことでも色々と言ったお掛けしたと思えますが、楽しく過ごすことができました。これも役員の皆様、事務局、そして本当に多くの方々のお助けがあつてこそと感謝しております。本当にありがとうございました。

### ●総務渉外委員会 幹事

迫谷 浩司



今年度は、初めて委員長という大役をさせていただきました。多岐にわたることが手探りで非常に早く感じられた1年だったように思います。総務というところで、主には会員総会のお世話をさせていただきました。

ただいたわけですが、どうしていいかわからず右往左往する自分を三好副会長はじめ、委員の方々、そして青年部の皆様、それぞれに多くのご助力をいただき、本当にお世話になりました。お陰さまをもちまして、この1年を乗り越えることができました。このたびの委員長就任をとおし大変勉強をさせていただきました。ありがとうございました。

### ●広報委員会 幹事

山本 昌宏

広報委員会では、広島YEGのホームページの更新、「あんとれおれす」の発行、メルマガの発行という3本柱を進めてきました。HPでは、延べ1万人の方にアクセスいただきました。また、メルマガも例年直前の発行としたことで、少しは動員に役立ったのではないかと思います。広報委員会の皆さん、1年間本当にありがとうございました。

### ●例会グループ 担当副会長

早田 良二

会員の皆さんには多大なご協力を頂きまして、ありがとうございました。終わって

みれば、はや1年経ってしまったというのが正直な感想です。是非、皆さんもYEG人生のなかで一度はみんなのためにお世話役をしてみて下さい。いろいろな「気づき」の中に勉強になることが一杯あります。実は皆様のお世話をさせていただきながら、一番勉強させて頂いたのは私なのです。1年間、本当にありがとうございました。感謝。

### ●例会委員会 幹事

堀江 征治

1年間を振り返ってみると本当にあつたという間に過ぎた感じではありましたがとても貴重な経験をさせていただきました。感謝します。5月例会をはじめに新年互礼会まで委員会メンバーにはいつも元気に頑張つて頂き何とか無事に終える事が出来ました。青年部は若い力の活躍の場でもあると思います。18年度もその若い力で事業の企画・運営に取り組み、活動頂ければと思います。委員会メンバーをはじめ青年部会員の皆様に支えて頂き感謝いたします。1年間、どうもありがとうございました。

### ●YEG活用委員会 幹事

川村 聡



1年間青年部の役員を務めさせていただきました。あつたという間の1年でしたが、青年部の様々な方からエネルギーをもらつた1年でもありました。YEG活用委員会メンバーの皆様、いろいろな場面で青年部を盛り上げていただき本当にありがとうございました。9月例会の後の「海軍カレー」はとても美味しくいただきました。YEG活用の第一歩はやはり参加することからはじめます。これからも、参加して、勉強して、楽しんで、自ら創っていきけるという会であつてほしいと思います。

皆様本当に1年間ありがとうございました。感謝。

### ●会員ネットワーク推進グループ 担当副会長

宮田 典知

たしか「こうありたい」という夢を忘れていたか「こういう件が本年度基本方針の中に有つたように記憶しております。次年度10周年の節目を前に、より成熟した広島YEGでありたい、と年初に想いをめぐらしたのを思い出しております。

本年度、会員ネットワーク推進Gでは「会員親睦委員会」「会員サービス委員会」の2委員会にて事業に取り組んでまいりました。前段の成熟度は両委員会委員長以下メンバー皆さんの努力が当会の今後の糧となつていけば、と私なりの理解をしております。皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。に、創立10周年を迎える来年度も変わらぬご指導をお願い致します。

### ●会員親睦委員会 幹事

久保 祐三

今年度の会員親睦委員会の主な事業は、通常会員総会、臨時会員総会後の懇親会及び卒業式、卒業パーティでした。特に卒業式、卒業パーティにおきましては、会員の皆様、今年度最後の事業を盛り上げてくださり有難うございます。また、1年間を通じて、積極的に会員親睦事業に参加いただき有難うございます。この場をお借りして、御礼申し上げます。最後に、この1年間円滑に委員会活動を行うことができたのも宮田副会長のサポートをはじめ委員会メンバーの積極的な取り組みがあつたからです。感謝申し上げます。

### ●会員サービス委員会 幹事

越智 拓也



初めての委員長で、まづ何をどうしていいのかわからず、まづぱり分かりませんが、宮田担当副会長や委員の皆様をはじめ、委員会以外でも多くの方々にサポートしていただき、何とか無事行事運営することができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

サマーフェスタはもちろん最大で最高の

# 平成17年度役員より

思い出ですが、多くのすばらしい方々と知り合いになれたことが一番よかったことのように思います。次年度は広報委員会の委員長を仰せつかりました。今年度以上に皆様のお役に立てるよう、微力ながらがんばらせていただく所存です。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

## ●企業ネットワーク推進グループ 担当副会長 安田秀一郎



青年部正副監事役員の皆様、広島県連の皆様、企業ネットワーク推進グループの3人の委員長をはじめ、委員会のメンバーの皆様の多大なるご尽力により、今や青年部の一大イベントとなりました「ひろしまビジネスフェスティバル」を無事終えることが出来ました。心より感謝申し上げます。第5回、第6回と2年間この事業に取組ませて頂き、課題は少々残りますが広島YEGの会員交流を図り出合いとチャンスの場に立たせて頂きました。皆様の絶大なるご協力とご理解を賜りましたことに感謝し、御礼の挨拶にかえさせていただきます。誠に有難うございました。

## B to B委員会 幹事 河本 康成

委員会活動を振り返り、委員の皆さん方がまず頭に浮かぶのは、「よくもまあこんなに活動したもんだなあ!」だと思えます。当初、ビジネスフェスティバルに向け異業種交流会を開催するとはご存知でも、会を重ねる毎にスケールアップしていく事に驚かれたのではないのでしょうか?しかしながら、安田担当副会長の大舵取りの下、委員の皆さんの健闘で成功裏に終えることが出来た事を誇りに思います。今私の頭に浮かぶのは、その時その時の委員の皆さんの頑張る姿と笑顔です!1年間、有り難うございました!

B to C研究委員会 幹事 高村 和吉  
皆様のお陰で、「ひろしまビジネスフェスティバル」を成功させる事が出来ました。委員会の皆様、ご支援いただいた皆様、ありがとうございました。

## ビジネスフェスティバル運営委員会 幹事 森吉 哉



この委員会は昨年も経験し、またスタッフもほぼ一緒ということもあり、最初はなんとかなるだろうと思っていたのが実際始まってみるとやはり様々な問題が山積し、楽勝どころか自分の力不足を痛感する事になりました。が、その分終わった後の充実感もまた格別のものでした。またこのような機会を与えられた時にはもっとスムーズな振る舞いが出来るようにしたいなと考えさせられました。なんとか無事に終わったことを本当に感謝申し上げます。皆様1年間本当にありがとうございました。

## ●トレーニンググループ 担当副会長 武田 哲司

本年度トレーニンググループでは、3つの委員会が会員の資質の向上を多角的に捉え、それぞれの資質向上を目指し事業に取り組みました。どの事業も多くの会員の方に参加をいただき、所期の目的を十分達成することができたと思っております。各委員長をはじめとする委員会メンバー、そしてご協力をいただきました会員の皆様に改めて御礼を申し上げます。1年間ありがとうございました。

## YEGシップ研究委員会 幹事 川村 晏徳



当委員会では起業家精神の研究に重点をおいて活動致しました。インフォオペラー(※注)を委員会に招き、インターネットビジネスの勉強会を開いたり、10

月例会ではコーチング研修を行いました。多くの方々から好評をいただきましたが、もっと早く取り組んで、充実させたかったという点を反省しております。至らぬ所も多々あったと思いますが、1年間どうもありがとうございました。

※注: インターネット・ソフトウェアの造詣、インターネット上で情報商材の販売や広告手数料などで生計を立てている人たちの総称

## 経営資質向上委員会 幹事 巢守 佳之



仙台研修から半年が経過し、今年もまもなくペナントレースが始まるうとしております。当時視察したフルキャストスタジアムは第2期工事を経て、さらにエンターテイメント性の高い空間になっている事と思われれます。今後も楽天野球団の前途を注目するとともに、事業を通して築いた委員会メンバーや参加者の皆様との絆、仙台YEGとのネットワークを大切にしたいと思っております。1年間ありがとうございました。

## アジアを知る委員会 幹事 田中 篤実



青年部の会員の皆様、またアジアを知る委員会の委員会メンバーの皆様、1年間色々とご協力、また何かとご支援、ご指導を頂きまして本当にありがとうございます。今年度、委員会委員長として微力ながら何とか最後まで無事に務めさせて頂きました。これもひとえに皆様方のお陰だと感謝し、心より御礼申し上げます。当初の事業計画としての海外研修が実施できなかった事は、大変残念でしたが、またいつかの夢を後輩の誰かが実現して下さる事を願っております。

## ●新しい広島を考えるグループ 担当副会長 市川 弘

今年度は「文化とスポーツを考える委員会」と「まちづくりを考える委員会」の2委員会を担当しました。両委員会とも熱心に活動していただきました。皆さん、1年間本当にありがとうございました。

文化とスポーツを考える委員会 幹事 木原 宏寿  
広島文化とスポーツの検証を課題として与えられ、6月には広島交響楽団に焦点を当てて例会を開催しました。その後、広島文化に照準を合わせ、予定者委員会を含め26回の委員会を開き、議論、検討を重ねました。その結果、青年部の意見、会長方針、今後の広島の発展を考慮しに至りました。有意義な委員会活動ができたことを、委員会のメンバー、並びに役員の方々に感謝申し上げます。



まちづくりを考える委員会 幹事 坂井由紀子  
私の青年部の活動は、何をしても良いか本当にわからない新人社員のようにでしたが、役員会や各委員会の方が積み上げて来られた例会に積極的にできるだけ参加したり、私達の担当委員会では委員会メンバーの大部分の方がまちづくりについて一緒に真剣に悩み取り組んでくれて、自分の至らないところを反省し、そして助け頂いた事、気がつかないことを感じさせてくれた経験に感謝したそんな活動でした。お世話になった皆様、ありがとうございました。



●新入会員研修特別委員会 委員長 下前 嘉彦  
今年度は、新入会員の研修会を二度開催しました。新入会員の皆さんには、早く青年部に馴染んでいただき、青年部を楽しんでいただきたいと思っております。



## 「青年部を振り返って」

●私が入会した頃から、例会や行事に工夫が凝らされ、活動的に変化に富んだYEG活動が始まったようでした。ちょうどその時期を体験し、また運営のお手伝いなど得難い経験を多くさせて頂きました。多くの方と知り合い、知って頂いた事は、私にとって生涯の財産です。かかわりあう事の大切さ、運営する事の難しさ、成し遂げる事の素晴らしさ、有意義な7年間でした。

石川 豊さん

●「光陰矢の如し」早いもので広島商工会議所青年部に入会して、あつという間の9年が過ぎました。その間、単年度会長の掲げる基本方針に基づき役員、会員の皆が力を合わせて、さまざまな事業を展開し、今日に至っております。微力ながら青年部の活動に積極的に関わることで、組織力とチームワークに多くのことを学びました。このうえない社会勉強をさせて頂いたことに感謝を申し上げます。さらに、企業経営や後継、また責任ある立場で活躍されている、多くの仲間とご縁を戴きましたことは、人生の大きな財産となり、青年部に入会して本当に良かったと思います。

さて、監事を拝命いたしました本年度を振り返りますと、監事とは、団体の庶務を担当し法人組織などを監督する……小生が職責を果たすことが出来たかはいささか疑問です。

しかしながら、高田会長の見事なリーダーシップと本年度役員の皆の若い力と情熱、さらには会員の皆の協力により、内容の充実した事業が執行された1年であったと確信しております。

末尾になりますが、来年度10周年を迎える広島YEGのさらなるご発展と皆様方の企業のご繁栄、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

上田 英司さん

●皆さん、今回卒業いたします。浴(えぎ)です。今までいろいろとお世話になりましたが、YEGが充足して数年たつてからでした。このような会は初めて戸惑うことばかりでしたが、先輩方からいろいろとご指導をいただき少しずつ進むことが出来ました。

た。また、高田会長のもと「文化で広島を考える委員会」では幹事をさせて頂いたが、企画調整などでは皆様にご迷惑をかけたが、一番の思い出となりました。これからのYEGの発展を願っています。

浴 靖典さん

●3年間の短い間でしたが本当に世話になりました。

平成15年度に櫻井さんの推薦を得て入会させて頂いたが、大変感謝しております。入会した時点で3年間しかないので積極的に活動に参加しようとしたが、どの委員会でも楽しく過ごせていただき、最終的には約120名の方々との名刺交換をさせて頂きました。

現在の会社に入る前は悪の枢軸といわれているゼネコンに20年勤め、全国津々浦々20現場をまわりましたので営業経験も少ないため、言葉も荒々しくなり、会のみならずには不愉快な思いをさせたことを慎んでお詫び申し上げます。特に久保田さんには酔ってからみましたが、これに懲りず今後とも誘いの電話をお待ちしております。皆さんありがとうございました。

太田 真義さん

●YEGには、商店街の青年部活動をやっていた関係で設立の頃から関わらせて頂きました。立派な諸先輩に囲まれて頑張ったのは貴重な体験でした。商店街振興のNPO活動が忙しくなり、そのうちに本業が厳しい状況になってYEG活動に参加できなくなり、申し訳ないと思っております。昨年は、廃業宣言などをしてお騒がせしましたが、おかげさまで多くのお客様・取引先に助けて頂き、営業を継続することが出来ました。ご心配をお掛けして申し訳ありませんでした。今はただ、感謝の心を胸に頑張りを残してあります。YEGのさらなるご発展を祈念いたしております。

尾崎 頼寿さん

●YEGには設立時から9年間在籍させて頂いたが、多くの方々で大変お世話になりました。入会当初はそれなりに活動に参加していたのですが、後半はほとんど休眠状態で、配属の委員会の皆様にご迷惑をおかけしてしまいましたが、「入って良かった」という気持ちで一杯です。これからは、青

年部OBとして、また親会の広島商工会議所の会員として、広島のために少しでも地域貢献できるように頑張っていくつもりです。YEGの皆様、本当にありがとうございました。

蔵田 修さん

●節目というのは大事なものです。まるで予行演習のようです。池波正太郎著「男の作法」\*「人間は死ぬ……」という、この簡明な事実を出来るだけ若い頃から意識することにある。もう、そのことに尽きるといつてもいい。何かにつけてそのことを、ふつと思っただけで違ってくるんだ。自分の人生が有限のものであり、残りどれだけの時間があるか、こればかりは神様でなきゃわからない、そう思えばどんなことに對してもおのずから目の色が変わってくる。\*男をみがく基本です。YEGの活動でどれほど男をみがけたのか？反省しつつ……長い間、ありがとうございました。

倉田 洋志さん

●このたび、卒業します見玉です。青年部発足より入会させて頂いたが、沢山の仲間と交流をはかることができ、沢山の仲間と交流を流し、入会したのは、35歳の時だったのだ。今振り返ると、若かつたので、わからないことが多く、いろいろとご指導をいただきました。ことに感謝しております。例會では、江ノ島のパーベキューやチヤヤスのプールなどに、該当委員会の一人としてお手伝いできたことは今でも印象に残っております。講演では、マリーナホップのお話や大和ミュージアムのお話で最近では印象に残っています。長い間、お世話になりました。会社としましたら、妹の旦那である小林が4月から入会させて頂いたが、宜しくお願ひいたします。

見玉 賢司さん

●9年間、大変お世話になりました。あつという間の9年でした。多くの素晴らしい人達と出会い、いっしょに過ごせた楽しい思い出ばかりです。これからはOBとして皆さんのますますのご活躍をお祈りいたします。長い間、本当にありがとうございました。

櫻井 文晶さん

●「このYEGでの多くの学びと研鑽があったことが、夢が叶った大きな要因だと思っています。随分前の話ですが、光廣さんから「今度、副委員長やってよ」と連絡が入り、軽い気持ちで副委

員長を引き受け、最初の役員会で「発足の大きな学びの体験。その翌年には委員長を務めさせていただきます。大変ではありますが、これもまた大いなる勉強になりました。」

2004年10月初めての本「広島eマガジン・インタビュブック/道を歩む素敵な仲間達」を発刊した翌年には「実録！企業再生物語」(フタバ図書発行)を、そして今年2月には「字義」(ザメディアジョン発行)を発刊。

本出版という夢が叶ったのも、広島YEGでの大いなる学びの活動があったからだと思います。学びと研鑽は、これからも私とあなたの道をひらくものだと確信しております。

船崎 賀秀さん

●感謝!!

広島商工会議所青年部に入会して9年間お世話になりました。その間、委員長幹事、副会長、監事、泉青連出向、商青連出向等々と色々と大変多くの経験、体験させて頂いたが、色々と多くの宝物を得る事が出来ました。この宝物をこれからもつと輝くものにしていきたいと思います。お願ひ申し上げます。また、今後ともよろしくお願ひします。

古田 裕三さん

●このたび、商工会議所青年部をはれて卒業することができました。皆様どうもありがとうございました。

青年部での活動は、参加すれば参加するほど、いろんな方と接点を持つことができます。通常の仕事だけしていれば、知り合いになれる可能性のない人と話をする事ができ、自分の考えとはちがうアドバイスを受けることができます。その財産を一生のものになります。ぜひ多くの貴重な財産をみつければと思います。どうも、ありがとうございました。

光廣 昌史さん

●青年部とは私にとって、「新しい人との出会いの場」「仕事を離れて息抜きをする場」「異業種の方の状況や考え方を聞き取って刺激をもらえる場」そして「友を得る場」と思い活動をしてきました。

この青年部には6年間の在籍となりましたが、本当に良かったと思えます。心より感謝を申し上げます。

芳野 敬章さん

## 卒業生の皆へ

# 卒業式・卒業パーティー

日時：平成18年3月24日  
場所：リーガロイヤルホテル広島

3月24日、リーガロイヤルホテル広島におきまして、会員親睦委員会（久保委員長）の企画により、平成17年度の卒業式・卒業パーティーが開催されました。

今年度は、23名の先輩方が卒業されました。

会場には100名を超える会員が集まり、別れを惜しみました。

## ●平成17年度卒業生

- 石井 誠さん (有)アート・テクニカル
- 石川 豊さん 協和レジナス(株)
- 上田 英司さん (株)上田モーターズ
- 上野谷吉禮さん ウエノヤビル(株)
- 内田 弘之さん (株)ナガト
- 浴 靖典さん (株)ミックス
- 太田 真義さん (株)ユニックス
- 小笠原 淳さん (セイコービジネス(株))
- 尾崎 頼寿さん 広島企業警備保障(株)
- 木下 良治さん (株)東呉服店
- 蔵田 修さん (株)プログレス
- 倉田 洋志さん 蔵田公認会計士事務所
- 甲島 宏さん (有)クラシコ・コーポレーション
- 高野 京次さん (有)とき印刷
- 児玉 賢司さん (株)京栄建設
- 櫻井 文晶さん (有)玉屋
- 船崎 賀秀さん 広島洋紙(株)
- 古田 裕三さん (有)広島eマガジン
- 三浦 俊哉さん 大昌工芸(株)
- 光廣 昌史さん (株)キーレックス
- 宮中 信一さん (株)オフィスマスツヒロ
- 山本 周二さん (有)みやなか工芸
- 芳野 敬章さん (株)ワイテック
- (株)高山商会



## サンフレッチェと私

広島に生まれ長く住みながら、過去一度も関心を持ったことがないもの、それが私にとってのサンフレッチェ(サッカー)でした。

ところが、自分で起業し、YEGにも加入させて頂き未熟ながらも自身の利益向上を追求する中で地域の活性化とは切っても切り離せない単純なシステムに気がつきました。私にとってのサッカー観戦は微力ながらの地域貢献であり、また私自身のリフレッシュ法となっていました。

約90分間、集中して試合を観戦することで普段のストレスから開放され、よしがんばろうという気持ちにさせてもらっています。  
今季はサンフレッチェが狙うはリーグ優勝です！  
広島の皆で応援してVへと後押しをしましょう！



広報委員会 上田 貴美

## 編集後記

今年一年、高田丸の航海の様子をお伝えしてまいりましたが、今回が、平成17年度最後の「あんとれぶれす」となりました。

来年度、広島YEGは10周年という節目の年を迎えます。熊本新会長の下、皆さんにも、もっともっとと青年部を楽しんでいただきたいと思います。

最後に、取材に協力いただいた皆さん、広報委員会の皆さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。

広報委員会委員長 山本 昌宏